

國學院大學学術情報リポジトリ

スタッフ紹介

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/1793

スタッフ紹介

* 氏名、現職、専門分野、担当プロジェクト、および2009年度の研究業績について紹介しています。今年度新任のスタッフには、研究紹介および2009年度以前の研究業績についても掲載しています。

井上 順考 所長・教授 宗教学・宗教社会学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

【単行本】

- ・『人はなぜ新宗教に魅かれるのか？』三笠書房、2009年5月
- ・（共著）『1Q84 スタディーズ BOOK1』若草書房、2009年5月
- ・（編著）『映画で学ぶ現代宗教』弘文堂、2009年5月
- ・（編集責任）『平成國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所プロジェクト・「デジタル・ミュージアムの構築と展開」2009年度研究報告書』國學院大學、2010年1月
- ・（編集責任）『国際研究フォーラム 映画の中の宗教文化 報告書』國學院大學、2010年2月

【翻訳】

- ・（監訳）ナンシー・K. ストーカー『出口王仁三郎—帝国の時代のカリスマー』原書房、2009年6月
- ・（監訳・共訳）クリストファー・パートリッジ『現代世界宗教事典』悠書館、2009年12月

【論文】

- ・“Religious education in contemporary Japan,” Religion Compass 3/4 2009, Blackwell Publishing Ltd., 2009年5月
- ・「『国体の本義』の時代の「日本文化」」（復刻『日本文化』日本文化協会、クレス出版、解説）2009年8月
- ・「学生における宗教文化教育への関心について—2008年度アンケート調査の分析から—」（『國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所年報』2）、2009年9月
- ・「宗教を解体していく映像メディア」（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2010』平凡社）、2010年3月
- ・「映画・ビデオ・DVD」（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2010』平凡社）、2010年3月
- ・「『神々の乱心』と大本教」（『松本清張研究』11、北九州市立松本清張記念館）、2010年3月

【講演】

- ・“Welcome speech and introduction of our religious education project”（第3回国際比較神話学会議、講演及び司会）、2009年5月23日

【口頭発表】

- ・「宗教文化教育と宗教情操教育の相違点」（日本宗教学会第68回学術大会、京都大学）、2009年9月

【その他】

- ・「教育資源としての〈宗教文化〉—宗教文化教育はどんな学問領域に関わるか？—」（「宗教と社会」学会第17回学術大会、テーマセッション、司会、創価大学）、2009年6月7日
- ・「自著を語る『映画で学ぶ現代宗教』」（『東京新聞』）、2009年6月26日
- ・「国学院大学・国際研究フォーラム「映画の中の宗教文化」という発想」（『キリスト教新聞』）、2009年11月14日

齊藤 こずゑ 教授 教育心理学、発達心理学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

【研究紹介】

専門分野は、発達心理学で、コミュニケーションの生涯発達がテーマです。言語だけでなく、非言語メディアによるコミュニケーションやその基礎的認知メカニズムもかかわります。従来、幼児や就学児の行動観察や、インタビューによる質的データを得て、相互作用分析、会話分析を行ってきました。近年は、研究で用いられる映像資料の意味付けに焦点を当て、発達研究方法及び、教育方法としての映像メディアの機能を研究しています。映像視聴や制作による認識の再構成やコミュニケーションを、フィールドワークやアクションリサーチによって質的に検討しています。また、そのような映像資料やフィールドワークに関わる倫理的問題の検討も並行して行っています。

【研究業績】

【単行本】

- ・(分担執筆)『社団法人日本心理学会倫理規定』日本心理学会倫理委員会、金子書房、2009年8月
- ・(責任編集)『児童心理学の進歩 Vol.49 [2010年版]』日本児童研究所編、金子書房、2010年6月

【論文】

- ・「映像発達研究法の可能性—フィールドにおける洞察を観る—」(『日本発達心理学会発達心理学研究』20(1)、日本発達心理学会)、2009年4月

【学会発表・シンポジウムなど】

- ・「言語発達観形成とメディアの機能—言語と映像—」(日本発達心理学会第20回大会発表論文、日本女子大学、ポスター発表)、2009年3月
- ・「保育実践の研究と倫理—園での研究における留意点—」(日本保育学会学会企画シンポジウム、千葉大学、指定討論)、2009年5月
- ・「臨床発達心理士の『倫理の基本』」(日本臨床発達心理士会第5回全国大会 倫理委員会企画シンポジウム、名古屋、指定討論)、2009年8月
- ・「ファインダーの裏側—映像データの語る観察者のナラティヴ—」(日本心理学会第73回大会ワークショップ『ビジュアル・ナラティヴ研究の可能性』、立命館大学、話題提供口頭発表)、2009年8月
- ・「映像制作における制作者の映像ナラティヴ—大学生の映像メディア表現における経験と創造の分析—」(日本心理学会第73回大会、立命館大学、ポスター発表)、2009年8月
- ・「ビジュアル・ナラティヴ研究の可能性(2)—マンガの物語構造を漫画家／小説家／漫画原作者の立場から検討する—」(日本発達心理学会第21回大会シンポジウム、神戸国際会議場、企画)、2010年3月
- ・「映像実践における自己と場の意味付け」(日本発達心理学会第21回大会発表論文、神戸国際会議場、ポスター発表)、2010年3月

【その他】

- ・「特集：座談会「ストレス研究における倫理とは—心理学の立場から—」(『ストレス科学研究』24、ストレス科学研究所)、2009年
- ・「子ども理解のパラドックス—子どもの観察方法—」(さいたま少年友の会主催の講演会、浦和市、講演)、2009年9月

遠藤潤 准教授 日本宗教史

担当プロジェクト「近世国学の靈魂觀をめぐるテキストと実践の研究—靈祭・靈社・神葬祭—」

〔論文〕

- ・「出雲大社と人生儀礼」（『大社町史』中巻、出雲市）、2009年9月

〔口頭発表〕

- ・「内務省神社局と神社調査—「特殊神事」を焦点として—」（日本宗教学会第68回学術大会、京都大学）、2009年9月13日
- ・「近世国学の古代研究—平田篤胤を焦点として—」（國學院大學北海道短期大学部公開講座「國學院の古代研究」、國學院大學北海道短期大学部）、2009年10月3日
- ・「近代の特殊神事と神饌—神社行政・神道史学・民俗学—」（國學院大學伝統文化リサーチセンター公開講座「そなえを問う」第3回、國學院大學）、2009年12月12日
- ・「平田篤胤と気吹舎—教祖論・開祖論からみた「大人」と門人組織—」（天理大学おやさと研究所宗教研究会「教祖論・開祖論の構築・脱構築」、天理大学）、2010年1月23日

黒崎浩行 准教授 情報化と宗教、現代社会と神社神道

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔論文〕

- ・（共著）「情報化社会における宗教の社会貢献」（稲場圭信・櫻井義秀編『社会貢献する宗教』世界思想社）、2009年12月

〔口頭発表〕

- ・「都市祭礼とコミュニティ意識」（神道宗教学会第63回学術大会、國學院大學）、2009年12月6日

〔その他〕

- ・「地域コミュニティの変容と神社神道の社会的役割再考」（神道宗教学会第63回学術大会、シンポジウム、司会、國學院大學）、2009年12月5日
- ・「国際化に向き合う神社神道」（シンポジウム「平成21年度國學院大學「特色ある教育研究」神道文化学部「国際化に対応した神道人育成のための基礎的調査と教材開発」、司会、國學院大學）、2010年2月21日

平藤喜久子 准教授 神話学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔論文〕

- ・“A New Perspective on Japanese Myth Education”（『國學院大學研究開発推進機構紀要』2）、2010年3月

〔口頭発表・講演〕

- ・“A New Perspective on Japanese Myth Education”, The 3rd International Conference on Comparative Mythology, Kokugakuin University, 2009年5月
- ・「宗教文化教育の資源としての神話」（「宗教と社会」学会第17回学術大会、テーマセッション「教育資源としての〈宗教文化〉—宗教文化教育はどんな学問領域に関わるか?—」、創価大学）、2009年6月
- ・「19世紀神話学とチェンバレン」（日本宗教学会第68回学術大会、京都大学）、2009年9月
- ・「神話学の「発生」をめぐる一学説史という神話—」（早稲田大学高等研究所シンポジウム「近代学問の起源と編成」、早稲田大学）、2010年3月
- ・公開講座「日本の神話と伝説」（公開講座『世界の神話、伝説、宗教』、朝日カルチャーセンター）、2009年12月

- ・公開講座「伊勢神宮にみる神信仰―式年遷宮と日本人―」(NHK 文化センター八王子教室)、2010 年 3 月
- ・講演「2 時間でざっくり理解する古事記」(丸の内はんにゃ会、奈良まほろば館)、2010 年 3 月

[その他]

- ・(分担執筆)「終末映画」「宮崎アニメとアニミズム」「おくりびと」「お葬式」「ナルニア国物語」(井上順孝編『映画で学ぶ現代宗教』、弘文堂)、2009 年 5 月
- ・「神話教育の展望―宗教文化としての神話―」(『神社新報』第 2991 号)、2009 年 9 月 7 日
- ・(監修・解説)「日本神話」(『voice style +plus 神々の国、日本』、ヴォイス) 2009 年 10 月
- ・(共著)「ホルトム文庫文献目録」(『國學院大學研究開発推進機構紀要』2)、2010 年 3 月

ノルマン・ヘイヴンズ (HAVENS, Norman) 准教授 日本宗教史、日本の民間信仰

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

松本久史 准教授 近世・近代の国学・神道史

担当プロジェクト「近世国学の靈魂観をめぐるテキストと実践の研究―靈祭・靈社・神葬祭―」

[論文]

- ・「荷田派の靈魂観と実践―他界の認識を巡って―」(『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』4)、2010 年 3 月

塚田穂高 助教 宗教社会学、近現代日本の宗教運動

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[研究紹介]

宗教社会学の立場から、日本のいわゆる新宗教運動を中心に研究してきました。宗教情報リサーチセンター (RIRC) に所属してからは、「カルト」問題などの現代宗教のアクチュアルな問題に、集積されたメディア情報等を駆使しながら、継続的に注意を払っていく必要性を認識しました。2009 年は、某団体が政治団体を結成し、国政選挙に大量に打って出ました。こうした眼前の問題に、研究に携わる者がどういう発信をできるか、ということも考えさせられました。今後は、「戦後日本 (新) 宗教のナショナリズム」というテーマで、諸団体の政治との関わりや、国家・天皇・日本文化への眼差しを明らかにしていきたいと思っています。

[論文]

- ・「現代日本における宗教性の行方―社会問題化する宗教、靖国神社問題、宗教の「社会貢献」の一年から― (国内の宗教動向)」(財団法人国際宗教研究所編『現代宗教 2009』、秋山書店)、2009 年 6 月
- ・「新新宗教における文化的ナショナリズムの諸相―真光と幸福の科学における日本・日本人観の論理と変遷―」(『宗教と社会』15、「宗教と社会」学会)、2009 年 6 月
- ・「変貌する「幸福の科学」の今昔―政治進出までの二三年間とその国家観―」(『世界』795(2009 年 9 月)、岩波書店)、2009 年 8 月

[口頭発表]

- ・「コメント: 宗教社会学・新宗教研究の領域から ―蓄積の必要性・守備範囲の可能性―」(「宗教と社会」学会第 17 回学術大会、書評テーマセッション「カルト／スピリチュアリティ／現代宗教の把握―藤田庄市著『宗教事件の内側』、櫻井義秀編著『カルトとスピリチュアリティ』を題材に―」、創価大学)、2009 年 6 月
- ・「日本の新宗教におけるナショナリズム―幸福の科学の運動展開と政治進出―」(東 ASIA 宗教文化学会国際学術大会、北海道大学)、2009 年 8 月

- ・「日本の新宗教における国家観・天皇観と実践—解脱会の事例から—」（日本宗教学会第 68 回学術大会、京都大学）、2009 年 9 月
- ・「幸福の科学の政治進出—概要と軌跡、主張と結果、そして展望—」（シンポジウム「幸せをめぐる政治・日本の宗教団体とその政治活動」、ドイツ日本研究所）、2009 年 11 月

【その他】

- ・（分担執筆）「ある朝スウプは」「カナリア」「ディスタンス Distance」「Column 新宗教教団作成の映画」「靖国 YASUKUNI」（井上順孝編『映画で学ぶ現代宗教』弘文堂）、2009 年 5 月
- ・「『幸福実現党』とは何だったのか—宗教記事データベース所収記事と選挙データからの分析—（研究ノート）」（『ラーク便り』45、宗教情報リサーチセンター）、2010 年 2 月
- ・「幸福の科学の映像メディア利用—幸福実現党、映画『仏陀再誕』を中心に—」（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本 2010』、平凡社）、2010 年 3 月
- ・（共著）「宗教がわかる Book ガイド（2009 年刊）」（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本 2010』、平凡社）、2010 年 3 月

【2008 年度までの主な研究業績】

- ・「『2 世信者』の信仰形成の過程と教団外他者」（川又俊則・寺田喜朗・武井順介編著『ライフヒストリー—の宗教社会学—紡がれる信仰と人生—』、ハーベスト社）、2006 年
- ・「霊能の「指導者集中型」宗教運動の展開過程における発達課題—日本の新宗教・霊波之光の事例から—」（『東京大学宗教学年報』24、東京大学宗教学研究室）、2007 年
- ・「新宗教運動における指導者の後継者への継承過程—霊波之光の事例から—」（『次世代人文社会研究』3、東西大学校日本研究センター）、2007 年
- ・（共著）「教団類型論再考—新宗教運動の類型論と運動論の架橋のための一試論—」（『白山人類学』10、白山人類学会）、2007 年
- ・「高木宏夫の新興宗教研究・再考」（『東京大学宗教学年報』25、東京大学宗教学研究室）、2008 年
- ・「宗教事件関係年表」「教団・団体解説」（藤田庄市『宗教事件の内側—精神を呪縛される人びと—』、岩波書店）、2008 年

星野靖二 助教 宗教学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

【論文】

- ・“Reconfiguring Buddhism as a Religion: Nakanishi Ushirō and His *Shin Bukkyō*” in *Japanese Religions* Vol.34 No. 2, 2009 年 7 月
- ・「キリスト教史と〈宗教〉史の“あいだ”」（市川裕・松村一男・渡部和子編『宗教史とは何か 下巻』、リトン）、2009 年 12 月
- ・「明治中期における「仏教」と「信仰」—中西牛郎の「新仏教」論を中心に—」（『宗教学論集』29、駒沢宗教学研究会）、2010 年 3 月

【学会発表・講演会・シンポジウムなど】

- ・「明治中期仏教改革論の位相—中西牛郎による「新仏教」の構想を中心に—」（駒沢宗教学研究会第 160 回研究会、駒澤大学）2009 年 6 月 24 日
- ・「“仏教”を“演説”する」（日本宗教学会第 68 回学術大会、パネル「明治仏教史を上書きする」、京都大学）、2009 年 9 月 13 日
- ・「田中達と其時代」（「宗教と社会」学会「社会的コンテクストの中のキリスト教」プロジェクト研究会、立教大学）、2009 年 10 月 3 日

【その他】

- ・「書評 加藤信朗監修、鶴岡賀雄・加藤和哉・小林剛編『キリスト教をめぐる近代日本の諸相』」（『宗

教研究』360 (83-1)、2009 年 6 月

- ・「書評特集『賀川豊彦』」(『国際宗教研究所ニュースレター』64)、2009 年 10 月 25 日
- ・編集・解説・解題(島藺進監修、島藺進・高橋原・星野靖二編集『日本の宗教教育論』、全 7 巻、クレス出版) 2009 年 11 月 ※各巻末解題の一部と、第 7 巻巻末の解説の一部を担当。

市川 収 客員研究員 惑星物質科学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

カール・フレイレ (FREIRE, Carl) 客員研究員 近代の日本史(特に社会史・思想史)

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[その他]

- ・(翻訳) Yu Uchiyama, Koizumi and Japanese Politics: Reform Strategies and Leadership Style, London, Routledge, 2010 年 3 月(原著: 内山融『小泉政権―「バトスの首相」は何を変えたのか―』中公新書、2007 年 4 月)

李和珍 PD 研究員 宗教社会学、日韓の新宗教教団の比較研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・「韓国新宗教研究の最近の動向―機関誌『新宗教研究』の内容から―」(『国学院大学研究開発推進機構日本文化研究所年報』2)、2009 年 9 月
- ・「新宗教の先祖祭祀の日韓比較―妙智會教団と圓佛教の事例を中心に―」(『国学院大学研究開発推進機構紀要』2)、2010 年 3 月

[その他]

- ・「グローバル化時代の到来と新宗教の展開―妙智會教団の事例―」(『宗教学論集』27、駒澤宗教学研究会、2008 年 2 月)で奨励賞を受賞、2010 年 7 月 1 日

市田 雅崇 PD 研究員 民俗宗教研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・「郷土の偉人像の構築と郷土史―峨山韶碩と峨山道を事例として―」(由谷裕哉・時枝努編『郷土史と近代日本』、角川書店)、2010 年 3 月

[口頭発表]

- ・「特殊神事と民俗」(第 61 回日本民俗学会年会、国学院大学)、2009 年 10 月 4 日

今井 信治 研究補助員 宗教社会学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[研究紹介]

専門は宗教社会学。現代における宗教の拡散・変容を念頭に置き、大衆文化やメディア空間における宗教のあり方を研究している。聖なるものが俗なる領域に回収される過程、あるいは俗なるものがその担い手によって聖化されようとする過程に関心を有している。

本プロジェクトでは Encyclopedia of Shinto のデジタルコンテンツ編集作業を担当。

[2008 年度までの主な研究業績]

- ・「世界のオタクの聖地―秋葉原を中心とするアニメ、マンガの聖地の誕生について―」(渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本 2008』、平凡社)、2008 年 3 月

- ・「アニメ『聖地巡礼』実践者の行動に見る伝統的巡礼と観光活動の架橋可能性—埼玉県鷲宮神社奉納絵馬分析を中心に—」（北海道大学観光学高等研究センター文化資源マネジメント研究チーム編『メディアコンテンツとツーリズム—鷲宮町の経験から考える文化創造型交流の可能性—』、北海道大学観光学高等研究センター）、2009年3月
- ・「秋葉原はグラウンド・ゼロになったのか」（渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2009』、平凡社）、2009年3月

小田 真裕 研究補助員 日本近世史

担当プロジェクト「近世国学の霊魂観をめぐるテキストと実践の研究—霊祭・霊社・神葬祭—」

【研究紹介】

近世後期における地域指導者層の学問受容について、下総における平田国学を中心に研究している。その際、思想史研究・村落史研究双方の方法論を用い、(1)学問の枠組みを自明のものとなせず、知識・情報の内容を細かく分析すること、(2)北総・東総の地域社会構造に踏み込むことを心がけている。

本プロジェクトでは、高玉安兄宛平田鋏胤書簡の翻刻・校訂作業および本居文庫蔵『霊能真柱』の注釈作業に従事している。

【2008年度までの主な研究業績】

- ・「享和～弘化年間における岡田家の地主経営」（渡辺尚志編『畿内の豪農経営と地域社会』、思文閣出版）、2008年2月
- ・「松代藩家中と天保七年飢饉」（渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政』、岩田書院）、2008年7月

小林 威朗 研究補助員 近世後期の国学・神道史

担当プロジェクト「近世国学の霊魂観をめぐるテキストと実践の研究—霊祭・霊社・神葬祭—」

【口頭発表】

- ・「臓器移植と現代神道」（神道青年全国協議会秋期セミナー、神社本庁）、2009年10月6日
- ・「『霊の梁』について」（神道宗教学会第63回学術大会、國學院大學）、2009年12月6日
- ・「神職・国学者岡熊臣の霊魂観に関する一考察」（國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所研究事業「近世国学の霊魂観をめぐるテキストと実践の研究」ミニシンポジウム「死と霊魂をめぐる国学者のいとなみ—現実のなかの死生観—」、國學院大學）、2010年1月21日

マシュー・チョジック (CHOZICK, Matthew) 研究補助員 カルチュラルスタディーズ・比較文化

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

【研究紹介】

主要研究テーマは、日本におけるカルチュラルスタディーズの問題など。

本プロジェクトでは、『神道事典』などの英訳・編集・訂正を担当している。

【その他】

- ・（翻訳）+81 編集部編 Tokyo Visualist, 河出書房新社、2009年10月
- ・（インタビューと翻訳）“Hiroki Azuma: The Philosopher of Otaku Speaks,” Metropolis, 2009年9月3日
- ・（ドキュメンタリー映画の翻訳）“Ink Music,” 2009年

【2008年度までの主な研究業績】

- ・“Queering Mishima's Suicide as a Crisis of Language” Electronic Journal of Japanese Studies, 15, 2007年10月
- ・“De-Exoticizing Haruki Murakami's Reception” Comparative Literature Studies, 45-1, 2008年
- ・（Review）“Japan's Postwar History” Asian Business and Management, 7, 2008年6月

江島尚俊 共同研究員 近代日本における宗教と近代化

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔論文〕

- ・「『哲学的仏教研究から歴史的仏教研究へー井上円了と村上専精を例としてー』（『大正大学大学院論集』34、大正大学大学院）、2009年12月15日

〔口頭発表〕

- ・「近代日本における大学制度と僧侶育成に関する一考察」（第68回日本宗教学会学術大会、京都大学）、2009年9月13日

〔その他〕

- ・「研究ノート 草創期の大正大学」（星野英紀編『大正大学 回顧と展望』、大正大学出版会）、2010年3月15日

ヤニス・ガイタニデイス (GAITANIDIS, Ioannis) 共同研究員 医療人類学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔口頭発表〕

- ・「現代日本の霊能者とその相談者の関わり」（第16回多文化間精神医学会学術総会、川崎市）、2009年3月28日
- ・「Nationalistic interpretations of Japanese mythology used to reassure clients during a session with a Japanese type of professional psychic in present-day Tokyo, 3rd Annual International Conference on Comparative Mythology, 2009年5月23日
- ・「スピリチュアル・セラピーという職業ー現代日本人のビジネスセンスー」（大正大学宗教学会2009年度大会、大正大学）、2010年3月25日

イグナシオ・キロス (Quiros, Enrique Ignacio Luis) 共同研究員 上代の国学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

小堀 馨子 共同研究員 古代ローマ宗教研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

〔論文〕

- ・「古代ローマ社会におけるローマ人の宗教意識序説ー古代ローマ宗教の研究史概観ー」（宗教史学研究所編『宗教史とは何か 下』、リトン社）、2009年12月
- ・「古代ローマにおける死者祭祀ーパレンタリア (Parentalia) 祭考ー」（『東京大学宗教学年報』27、東京大学宗教学研究室）、2009年3月

〔学会発表など〕

- ・「古代ローマにおける religio 概念について」（日本宗教学会第68回学術大会、京都大学）、2009年9月
- ・「古代ローマ宗教の研究史動向」（宗教史学研究所第50回例会、東洋英和女学院大学）、2009年12月
- ・「古代ローマ人の葬送儀礼に見られる身体観とその変遷」（「文明と身体」共同研究会、国際日本文化研究センター）、2010年3月

〔その他〕

- ・（分担執筆）「ダ・ヴィンチ・コード」「イエス映画の変遷」（井上順孝編『映画で学ぶ現代宗教』、弘文堂）、2009年5月

エリック・シッケタンツ (SCHICKETANZ, Erik) 共同研究員 宗教史学

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

高橋典史 共同研究員 宗教社会学、日系宗教の海外布教研究

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・「ハワイ日系仏教における故国日本」(『宗教研究』362)、2009年12月
- ・「現代日系宗教のハワイ布教の課題と模索—日系人宗教者の育成に注目して—」(『移民研究年報』16)、2010年3月

[口頭発表]

- ・「現代日系仏教のハワイ・北米布教の現状と新たな動き」(日本移民学会第19回年次大会開催校企画シンポジウム「移民と宗教—共生の模索—」、同志社大学)、2009年7月
- ・「戦間期ハワイ日系宗教と2つのナショナリズム」(日本宗教学会第68回学術大会、京都大学)、2009年9月

[その他]

- ・(翻訳) ラファエル・ショウジ「神道ナショナリズムのはずれた予言と日系ブラジル人カトリックの興隆」(國學院大學研究開発推進機構デジタル・ミュージアム双方向翻訳プロジェクト)、2009年 URL: <http://2lcoe.kokugakuin.ac.jp/articlesintranslation/>
- ・(分担執筆)「しあわせ色のルビー」「マルコムX」「MON-ZEN」「コラム 伝統宗教作成の映画」(井上順孝編『映画で学ぶ現代宗教』、弘文堂)、2009年5月
- ・「移民・宗教・ナショナリズム」(2009年度学術大会テーマセッション記録、『宗教と社会』15、「宗教と社会」学会)、2009年6月
- ・(共著)「宗教がわかる Book ガイド (2009年刊)」(渡邊直樹責任編集『宗教と現代がわかる本2010』、平凡社)、2010年3月

武井順介 共同研究員 宗教社会学、社会調査論

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[口頭発表]

- ・「教団変革期における体験談の変容—世界救世教を事例として—」(日本宗教学会第68回学術大会、京都大学)、2009年9月
- ・「断片化される教祖像—世界救世教いづのめ教団信者の体験談を手がかりとして—」(天理大学おやさと研究所宗教研究会、天理大学)、2010年1月

[その他]

- ・「新刊書紹介: 望月哲也著『社会理論としての宗教社会学』(北樹出版、2009年)」(『立正大学社会学論叢』7、立正大学社会学会)、2010年3月

ロハニ・ビナヤク (LOHANI, Binayak) 共同研究員 仏教美術

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

ジャン＝ミシェル・ビュテル (BUTEL, Jean-Michel) 共同研究員

担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

松本喜以子 共同研究員 計算機シミュレーション
担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

三ツ松誠 共同研究員 幕末国学研究
担当プロジェクト「近世国学の靈魂観をめぐるテキストと実践の研究— 霊祭・霊社・神葬祭—」

[論文]

- ・「異国と異界—安政期の三輪田元綱—」(『神道宗教』216)、2009年10月
- ・「学者と講釈師のあいだ—平田篤胤『霊能真柱』における安心論の射程—」(『死生学研究』13)、2010年3月
- ・「長野義言の「靈魂考」」(『東京大学日本史学研究室紀要』別冊)、2010年3月

[口頭発表]

- ・「本居派の学校構想再考—内遠期を中心に—」(第26回鈴屋学会大会)、2009年4月
- ・「「みよさし」論の再検討」(史学会第107回大会日本史部会近世史シンポジウム「18世紀の近世日本」)、2009年11月

[その他]

- ・「参加記 2008年度人間文化研究機構主催・アジア民衆史研究会共催シンポジウム「国民国家形成期の民衆運動と政治文化」」(『アジア民衆史研究会会報』臨時号)、2009年9月
- ・「書評 吉田真樹著『平田篤胤—靈魂のゆくえ—』」(『思想史研究』10)、2009年10月
- ・「コメント」(國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所ミニ・シンポジウム「死と靈魂をめぐる国学者のいとなみ—現実のなかの死生観—」)、2010年1月

ナカイ ケイト・W (NAKAI, Kate Wildman) 客員教授 日本思想史
担当プロジェクト「デジタル・ミュージアムの運営と関連分野への展開」

[論文]

- ・“Tokugawa Approaches to the Rituals of Zhou: The Late Mito School and ‘Feudalism,’” in Benjamin A. Elman and Martin Kern, eds., *Statecraft and Classical Learning: The Rituals of Zhou in East Asian History*, Brill, 2010年

[口頭発表・講演など]

- ・“Situating Mitogaku: Aizawa Seishisai and the Naobi no Mitama Debate,” presented at “Cambridge Conference on Tokugawa Thought,” Selwyn College, Cambridge, 2009年3月
- ・“The Vicissitudes of Kings Tang and Wu in Tokugawa Japan,” presented at the symposium “Commonality and Regionality in the Cultural Heritage of East Asia,” Barnard College, New York, 2009年5月

林 淳 客員教授 日本宗教史
担当プロジェクト「近世国学の靈魂観をめぐるテキストと実践の研究— 霊祭・霊社・神葬祭—」